

## 第7回 学校再編検討会

### 議事概要

日時：令和3年9月1日（水）

場所：市役所3階 第1会議室

14:30～15:50

### 1 あいさつ（小林教育長）

- ・本日の検討会では、答申に関する意見募集アンケートの結果がまとまったので報告する。また、前回から地図を含めた資料が追加される。参考にしながら審議いただきたい。

### 2 協議事項

#### (1) 学校教育審議会答申に関する意見募集アンケート結果について

（アンケート結果事務局説明）

- ・答申の報告会参加者に行ったアンケートは比較的年齢の高い方が多かったが、このアンケートでは50代以下の若い世代からの回答のみとなっている。回答者に年齢の偏りがあるのでこのアンケート結果だけを踏まえることは適切ではないと思う。
- ・回答を見ても自分の思い出などを語る意見は少ない印象を受ける。
- ・やはり小中一貫教育という言葉から義務教育学校をイメージし、反対している方が一定数いる。これまで検討会で議論したとおり、小中一貫ではなく小中連携の体制を取った方が市民の考えに沿うのではないかと。また、スクールバスの運行は不要だと考えている方が意外に多い印象を受けた。
- ・各小学校の回答者数の違いに注意したい。アンケートの質問6の中学校を学区とした小学校再編についての賛否を尋ねる欄もそうだが、反対意見が50%近く割合を占めていても、解答している人数をみると少数であったりするので、必ず学校ごとの回答の絶対数も見ておかなければならない。

#### (2) 芦原中学校区統合小学校の校地選定に係る基本的な考え方について

（資料「小学校設置基準」及び【参考】臼田地区新学校整備事業基本設計配置平面図（案）および設計概要」を事務局より説明）

※なお、上記【参考】臼田地区新学校整備事業基本設計配置平面図（案）および設計概要については、佐久市HP掲載資料を当検討会の検討資料とすることについて、佐久市教育委員会事務局学校教育課の了承を事前にいただいている。

- ・ 3 小学校から等距離にあるのは小諸駅や懐古園周辺があるが、中心市街地に近いので用地確保に時間と費用がかかる。
- ・ ハザードマップの浸水地域や火山泥流が到達する範囲を避けることは必須。
- ・ 今、この場で校地を絞り込んでしまうのは適切ではないと考えている。芦原中学校にできるだけ近い場所であること、佐久市の新小学校を参考に 25,000 m<sup>2</sup>の土地が確保できること、現在の坂の上小、水明小、千曲小からの距離が離れすぎないこと、現在の各小学校敷地も選択肢として予算のことも考えて検討することを前提条件として、校地選定委員会において検討していただければよいのではないかと。
- ・ 本日追加された資料や防災マップから、おおよそ危険箇所が分かってきた。繰り返しになるが、先ほど出された意見を基に校地検討委員会に検討していただくのが良いかと思う。設立の時期としては、検討会で検討した芦原中学区の 3 小学校を 1 校に統合する方針について、説明会を開催した後、令和 4 年 4 月が一番早いタイミングとなる。校地検討委員会を構成するメンバーの検討は年明けまでに当検討会で考えを詰めていきたいと思うがいかがか。

⇒本日のまとめとして、芦原中学校にできるだけ近い立地であること、おおよそ 25,000 m<sup>2</sup>程度の敷地が確保できること、坂の上小、水明小、千曲小の 3 小学校からなるべく離れない距離にあること、新たに用地を確保する必要がある場合は、財政状況を踏まえて判断することを校地選定の条件とし、校地選定委員会を設置することとする。委員会の構成員の選出については今後検討会で議論することとしたい。

### (3) その他

○次回会議予定：9月24日（金）